

10月19日：銀行、証券株が相場を支える

月曜日に株式は上昇して取引を終えた。銀行、証券株が上昇したが、売り圧力も同時に高まりいくつかの大型株が相場を押し下げた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.04%高の943.69ポイントで取引を終えた。

同指数は先週末には940.30ポイントで取引を終えていた。

狭いレンジ、値上がり株数が多い、流動性が下落といったことからVN指数は落ち着き始めていることを示唆しているとBIDV証券（BSC）は述べた。

同社は投資家に取引を控え今週の短期的な動きに左右されないように勧めた。

出来高は3億8950万株で売買代金にして7.9兆ドンであった。

197銘柄の下落に対して205銘柄が上昇した。

VN30指数は0.21%高の903.51ポイントで取引を終えた。

VN30指数では17銘柄が下落し12銘柄が上昇した。

銀行株が相場を支えた。アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベティンバンク（CTG）、軍隊銀行（MBB）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）などが上昇した。

証券株も資金を惹き付けた。SSI証券（SSI）、ホーチミン市証券（HCM）、VNダイレクト証券（VND）、ベティンバンク証券（CTS）、サイゴンハノイ証券（SHS）などがそうであった。

売り圧力が高まった大型株は、ペトロベトナムガス（GAS）、ホアファットグループ（HPG）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、ペトロベトナムパワー（POW）などであった。

セクターごとでは12セクターが上昇した。卸売り、保険、不動産、証券、IT、銀行、ゴム、飲食料品、運輸などが上昇した。

一方、13セクターが下落、小売、ヘルスケア、エネルギー、農業、プラ化学、水産加工、建設資材などが下落した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.76% 高の 140.88 ポイントで取引を終えた。

出来高は 4950 万株で売買代金にして 7730 億ドンであった。

外国人投資家は 3689 億ドンの売り越し、ハノイでは 7 億ドンの買い越しだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。